

第113号

編集・発行

2018・1・16

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町17
0179(22)0262

さんのへ 社協だより

平成30年 新年号

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



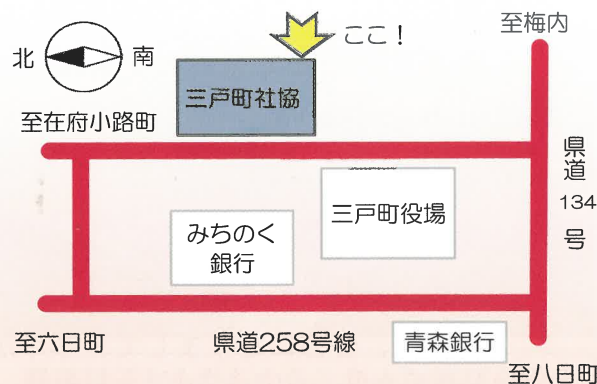
第46回三戸町社会福祉大会
ミューズ保育園の園児によるアトラクション (10月26日開催)

■おもな内容

ページ

- 年頭のご挨拶 2
- 子どもほのぼの交流会を開催しました 3
- 法人化 50 周年記念
第 46 回三戸町社会福祉大会 4~5
- 介護者のつどい開催のお知らせ 6
- 昔とった杵柄 シルバー健在 7
- 善意の窓、心配ごと相談、サロン紹介 8

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。



年頭のご挨拶

三戸町社会福祉協議会 会長 関向 文男

平成30年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本年も役職員一同、地域福祉の一層の向上に努めてまいります。

さて、昨年を振り返ってみますと、本会法人化50周年を記念した第46回三戸町社会福祉大会を、多数のご来賓、町民の皆様のご参加のもと、盛大に開催できましたことは大変喜ばしいことでありました。

今改めて50年の歩みを振り返るとき、地域福祉の推進のため、本会事業を牽引してきた諸先達のご尽力と、民生委員児童委員を始めとする福祉関係者のご支援に敬意と感謝の念を強くするとともに、町民の皆様からの期待に身が引き締まる思いであります。

また、発足から2年目を迎えたシルバー人材センターは会員数、利用数ともに順調に増え、シルバー世代がその力を存分に発揮された1年であったと感じています。

印象的だったのは、将棋の世界において史上初となる永世7冠を達成された羽生善治氏が会見のなかで「伝統と歴史のある将棋の世界だが、盤上は日進月歩。過去の実績は盤上ではあまり意味がなく、常に最先端を追求していく思い」といった趣旨の発言をされたことです。

少子高齢化の進展や人口が減少するなか、福祉分野はいま、新たな課題や需要も顕在化し、「これまでのやり方」が通用しなくなっているのが現状です。

そうしたなかで過去の実績にとらわれず、常に前進する羽生氏の姿勢が、これからの福祉の推進には不可欠だと感じますし、地域福祉の一層の充実に繋がると信じています。

本会の基本理念である、「住み慣れた地域でだれもが安心して暮らせる、心の通い合う福祉のまちづくり」の実現に向けて、共に歩んでまいりましょう。

結びに、皆様にとりまして、本年が健康で幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

子どもほのぼの交流会を開催しました

平成29年9月19日(火)、小中一貫三戸学園三戸小学校において、子どもほのぼの交流会を開催し、地域の高齢者8名と、三戸学園の4学年児童67名が、コマやおはじき、けん玉といった高齢者が幼少期に親しんだ遊びや高齢者の体験を学ぶ形で交流を行いました。

交流会に先駆けて、9月6日(水)にガイダンスを行い、三戸町の高齢化の現状を題材にしたクイズや、高齢者疑似体験を通じて、高齢者と接するときには気をつけなければならないポイントについて学びを深めました。

交流会の様子



開会の様子。あいさつをする関向会長



まずは自己紹介。どちらも少し緊張した様子



あやとり。どんな形が出来上がるでしょうか



たが回し。アドバイスをもらって、上手に転がりました



全員で楽しく給食を食べたあとの一コマ



最後は子どもたちから、色々な遊びを教えてくれた高齢者の皆さんにプレゼント。思い出が増えました

法人化50周年記念

10月26日(木)、本会法人化50周年記念となる第46回三戸町社会福祉大会を三戸町民体育館において開催し、福祉関係者・一般町民合わせて、200名以上にご参加いただきました。

午前は青森県立種差少年自然の家研修課長の尾崎官一氏を講師に招き、『高齢者の生きがいづくり』と題してご講演をいただきました。

午後は大会式典を行い、福祉の向上に貢献された方々に対し表彰状・感謝状を贈呈しました。

大会式典の様子



式辞を述べる本会会長関向文男



三戸町長松尾和彦様をはじめ、多数のご来賓にご臨席を賜りました



本会理事藤村立夫が大会宣言を読み上げ、満場一致で採択されました



表彰状の贈呈を受ける箸木山町内会リサイクル代表の佐藤正様。

民生委員児童委員やほのほの交流協力員、福祉団体の会員として多年に渡ってご活躍いただいた方への表彰状と、多額の御寄付をいただいた方に対する感謝状を贈呈いたしました

大会宣言（全文）

今日、社会福祉をめぐる情勢は、少子高齢化の急速な進行や家庭機能の変化、障がい者の自立と社会参加など人びとが有する福祉課題やニーズも多様なものとなってきています。

こうした中、地域での相互扶助機能の弱体化、住民相互の社会的つながりも希薄化していると言われています。

このようなことから、私たちは、今後とも地域の様々な福祉ニーズに迅速に対応するため、関係団体等との連携を図りながら、「自助」「共助」「公助」の精神のもと、創意・工夫を凝らし、みんなで知恵を出し合い、活力ある地域福祉の推進に取り組んでいかなければなりません。

本日、ここに第46回三戸町社会福祉大会の開催にあたり、私たち福祉に携わる関係者は、大会スローガンである「住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせる、心の通い合う福祉のまちづくり」の趣旨を踏まえ、町民総参加による地域福祉の一層の推進を図っていくことを宣言します。

第46回三戸町社会福祉大会

講演の様子



講師の県立種差少年自然の家研修課長
尾崎官一氏



講師からの質問に赤と青のカードで答える
参加者の様子

福祉の意見発表の様子



杉沢小中学校7年の杉沢蓮さん。
テーマは「障がいのある人の生活」



三戸高校2年の四戸結彩さん。
テーマは「認知症サポーター養成講座を
通して学んだこと」

この他にも、障がい者施設による製品の展示販売、本会事業のパネル展示を行い、来場された方から大変好評をいただきました。

本大会の開催にあたりご協力をいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

福祉の意見発表 発表者

小中一貫三戸学園三戸小中学校	9年	大 沢 隼 人 さん
小中一貫三戸学園斗川小学校	6年	小 川 志 織 さん
三戸町立杉沢小中学校	7年	杉 沢 蓮 さん
青森県立三戸高等学校	2年	四 戸 結 彩 さん

受賞者 名簿

民生委員児童委員	武士澤 弘 美 様
一般奉仕者	奥 山 友 彦 様 西 野 美貴子 様 (ほのぼの交流協力員)
社会福祉団体への援助者	船 場 セ づ 様 (三戸地区更生保護女性会)
社会福祉協議会役員	一 戸 恵 子 様 (三戸町社会福祉協議会理事)
感謝状(個人寄附者)	工 藤 り め 様
感謝状(団体寄附者)	三戸町社交ダンス愛好会 様 箸木山町内会リサイクル 様

昼食カレーライス提供のボランティア

三戸町食生活改善推進委員会の皆様

ご自宅で介護をされている皆様へ

三戸町社会福祉協議会では、現在ご自宅でご家族の介護をされている方や、介護について関心のある方を対象とした『介護者のつどい』を開催します。

当日は講師に、はちのへファミリークリニック院長の小倉和也氏をお招きして、在宅介護をテーマにしたご講演を予定しております。

現在の介護に関する悩みや苦勞、今後介護をする・される立場になることへの不安など、おひとりで抱え込まずに、参加された皆さんと分かち合いましょう。

たくさんのご参加をお待ちしております。

開催日時 平成30年3月7日(水) 午後2時30分から3時30分まで

場 所 三戸町総合福祉センター『ふくじゅそう』3階大会議室

対 象 現在介護をされている方、介護について関心のある方

参 加 費 無料 **お申込み方法** 電話でお申込みください

申込締切 平成30年2月28日(水)まで

※締め切り後でも対応できる場合もございますので、ご相談ください。

講 演 講話 「連携で安心！在宅医療と介護」

講師 はちのへファミリークリニック

院長 小倉 和也(おぐら かずなり)氏

講師プロフィール



国際基督教大学教養学部人文科学科卒業。琉球大学医学部医学科卒業。医療法人社団カレスアライアンス日鋼記念病院初期研修修了。医療法人北海道家庭医療学センター家庭医療学シニアレジデント修了。医療法人社団弓削メディカルクリニック常勤医を経てはちのへファミリークリニック院長。

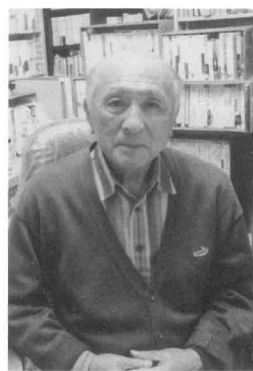
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医。認知症サポート医。NPO法人Reconnect理事長。NPO法人在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク副会長。全国在宅療養支援診療所連絡会世話人。青森県在宅医療対策協議会委員。青森県医師会在宅医療協議会 幹事。八戸地区介護保険事業者協会理事。一般社団法人八戸市医師会理事。

著書：スーパー総合医「コモンディーズ診療指針」(共同執筆)中山書店2016。総合診療専門医シリーズ「総合診療専門医のためのワークブック」(共同執筆) 中山書店2017

◆介護者のつどいに関するお問い合わせ：担当(梅田) 22-0262

昔とった杵柄

シルバ―健在



大矢 昭 哉 さんの巻

昭和六年三月三十日生まれ 八十六歳

毎週木曜日、八日町町内会館で「いきいき百歳体操」のリーダーとして、まさにいきいきと体を動かしている人、これがキクヤさんこと、大矢昭哉さん、八十六歳です。

大矢さんは、旧斗川村中堤で大矢満吉、清子様

の長男として、昭和六年三月に生まれました。

お父様が近衛師団の軍人だったため、小学三年生までは東京、その後満州で暮らし、小学五年生の時に斗川小学校に転校、県立福岡中学校に進学したものの、又東京に。そこで空襲を受けて再び福岡中に戻ったのです。

福岡中には、斗内から

三戸駅まで自転車で通学、時に列車が遅れると福岡（現二戸市）から歩いて家に帰ることもあったそうです。

学徒動員で北上市の飛行堤建設で働かされていた時、釜石の攻撃を防ぐため飛び立った特攻機が、見送りの家族の上を離れがたく、旋回を

繰り返しているのを見て「戦争は絶対にするべきでない」と涙ぐむ場面もありました。

福岡中から明治薬科大学へと進み、藤沢薬局に入社、薬剤師のプロパーとして東北各地の病院を巡回しているうちに、三戸町のキクヤ薬局の跡継ぎにという縁談が持ち込まれて、キクヤ薬局を継ぐことになったのです。

県の薬物乱用防止の会長や町の選挙管理委員長を十二年間もつとめるなど、県や町に貢献

されました。

その功績で、旭日単光章の叙勲を受け、「ようやく父親の勲六等に近づき、追い越したか」と安心したとのことでした。

キクヤ薬局は十五年ほど前に閉じ、八十年の歴史を閉じましたが、今は大矢さん、いきいき百歳体操を続けながら、静かに本を読む日々を送っています。

（文責・川村 亨）

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。
(平成29年8月1日～平成29年11月30日まで)

寄附金の部

- ・匿名様 10,000円
- ・青森県市町村職員年金者連盟三八支部様 5,000円
- ・生涯学習塾 狐狸庵様 15,000円
- ・箸木山町内会リサイクル様 10,000円

寄せられた善意は、福祉基金に積み立て、地域福祉活動のために使わせていただきます。

心配ごと相談

心配ごと、困りごと、何でもご相談ください!

毎月10日、20日、30日

土日、祝日の場合は、直後の最も近い平日に開設します。

●場所／三戸町総合福祉センター 3階
小会議室3

●時間／午後1時から午後3時まで

気軽に立ち寄れる憩いの場

ふれあいサロンに遊びに来ませんか

三戸町社協では、どなたでも気軽に立ち寄れる「ふれあいサロン」を町内2ヶ所に開設しています。
おひとりでも、お仲間と一緒に構いません、どうぞ気軽に遊びに来てみてください。

◆まちなかサロン◆

●場所：ふくじゅそう地下1階

●開設日：毎週月曜～金曜日の午前10時から午後3時(水、木曜日は正午から3時)



◆ふれあいサロンあんべ◆

●場所：勤労青少年ホーム1階

●開設日：毎週火曜日と水曜日の午後1時30分から3時30分



参加費や入場料は無料です。また、事前のお申込みも不要です。

まちなかサロンでは、編み物や絵画などの趣味活動を中心に、あんべではトランプゲームなどを中心に、来られた皆さんはご自分のペースで楽しんでくださっています。

暖房の効いた暖かいお部屋で、お喋りに花を咲かせるのもよし、読書など趣味活動の場に活用していただくのもよし、どうぞ、お時間の空いたとき、ふらっとお立ち寄りください。

ふれあい交流サロンについてのお問い合わせ：担当（平山）

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262